

ひむか未来マイスター・ハイスクール事業

目標

- ・デジタル技術を活用した付加価値の高い商品開発やビジネスモデル変革を目指すこれからの地域産業界を担う人材の育成。
- ・予測困難な社会の変化にも主体的に対応できる資質・能力を有する人材の育成。
- ・地元企業のもつ技術力や存在意義などの魅力に触れ、自らもそうした企業で持続可能な地域や社会の実現に貢献しようとする態度の育成。

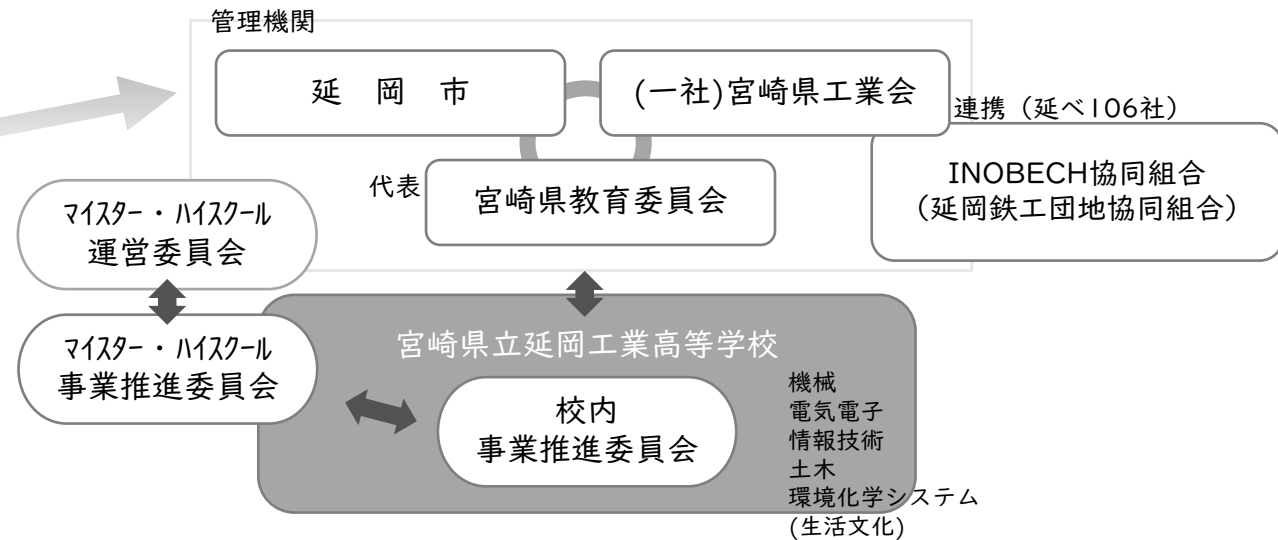
概要

高校段階での人材育成として、「ICTを活用したものづくり」に力点を置いたカリキュラム開発（機械科）からスタート。地域産業界等のニーズを踏まえながら他学科へ展開。長期的な人材育成の視点に立ち、高校内でエンLab（エンラボ）を新たに設置し、延岡市民のものづくりの拠点を目指す。

事業計画

1年目	2年目	3年目	4年目以降
※「ICTを活用したものづくり」 機械科実習の充実	に力点を置いたカリキュラム開発 機械科実習の更なる充実	機械科実習新カリキュラム	→
ニーズ調査	機械科以外の取組や大学等との 連携の在り方などの検討	(具体的な取組)	→
エンLab環境整備	エンLab環境整備・試験運用	エンLab環境整備・本格運用	→

実施体制





ひむか未来マイスター・ハイスクール事業

令和5年度の目標

本事業における1、2年目の取組では、(1)本事業の実施により、企業や地元行政と今まで以上に連携を深めることができた。また、学校内の教育活動に対して意見をいただく機会が増えた。(2)マイスター・ハイスクールCEOは年度当初より事業に参画していただき、学校に足を運んで、先生方と意見交換を図っているところである。企業の方から見た教育活動へ忌憚のない意見をいただいている。(3)エンLab運用を見据えた装置導入が進み、実習室環境が整ったことから、実習室利用の活動に広がりを持つことができた。(4)児童向け工作教室、ワークショップ（工業教育フェア）の実施において、生徒の主体的な活動、ICT活用による技術支援やエンLabにおける開かれた環境への手応えを得ることができている。これらを踏まえ、下記を進めることとする。

事業計画

機械科実習における「ICTを活用したものづくり」に力点を置いたカリキュラムを実施する。校内、校外における企業と連携した授業では、地元企業のもつ技術力や存在意義などの魅力に触れ、自らもそうした企業で持続可能な地域や社会の実現に貢献しようとする態度の育成につながる展開を図る。企業と連携したエンLabの環境整備及び本格運用を行う。

これまでの取組	3年目	4年目以降
※「ICTを活用したものづくり」に力点を置いたカリキュラム開発 機械科実習の充実	機械科実習新カリキュラム	
機械科以外の取組や大学等との連携の在り方などの検討	(具体的な取組)	
エンLab環境整備・試験運用	エンLab環境整備・本格運用	

(1)コロナ禍での活動(2)機械科実習での展開(3)関係機関との連携(4)1人1台端末の活用による学習の深化

